



第428号

公益社団法人  
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町 2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
FAX (088) 636-1122  
発行責任者 大坂 利 弘  
編集者 原岡 艶 甲

# 浄化槽の 推進要望 さらなる

## 公明党が徳島でヒアリング開催

11月7日(土)、徳島市のホテル千秋閣に於いて石田祝稔公明党政務調査会長(衆議院議員)、谷合正明参議院議員、長尾哲見県議会議員らが出席して公明党ヒアリングが開催された。今回のヒアリングは、県内の各種団体から、現在それぞれの業界が抱える課題を解決するための政策提言を受け、今後の政治に反映させることを目的に企画されたもので有り、当日は15団体が参加した。

県環境技術センターからは、大坂会長・原岡専務理事・川人常任理事の3名が出席、浄化槽行政に関する要望をおこなった。

要望の主な内容はつぎのとおり。

- ①遅々として進まない「単独浄化槽の合併処理への転換」を大きく前進させるため、法的措置の整備及び転換補助金の拡大を図りたい。
- ②適正な施工及び維持管理が確保でき、尚かつ整備スピードが速い市町村設置型浄化槽事業のさらなる推進を図りたい。
- ③浄化槽の管理主体を下水道と同様に、「個人」から「公的な組織」へ転換促進、並びに維持管理補助の創設を図りたい。

最初に、大坂会長が、『長尾顧問には、日頃から大変

お世話になっておりますが、県レベルでは解決できない課題もある事から、是非国でも取り上げて頂きたい』と挨拶、続いて



左から古川県議会議員、谷合参議院議員、石田政務調査会長、長尾県議会議員、梶原徳島市議会議員、奥田阿南市議会議員

原岡専務理事が、資料を基に、各要望事項について、それぞれ具体的に提案理由を説明した。

これに対し、石田政調会長は、要望の趣旨は基本的に公明党の方針と同じ方向を向いているとして、『下水道は、管路の更新等の問題もあり、多額の財政負担を要することから、より効率的・効果的な汚水処理施設である浄化槽へのシフトは必然』と応じた。

また、党としても市町村型浄化槽を推進しているが、やはり市町村では、『行政が後々まで浄化槽を維持管理していくのは責任が重い』とする意見が多い。しかし、PFI方式を活用すれば、民間の知恵・ノウハウを使ってこれらの課題も克服できることから、さらに積極的に推進していきたいとした。

最後に石田政調会長は、本日お聞きした内容は、業界の課題というよりも国民・県民の生活に直結した問題であり、国としても、地方としても、優先して取り組まなければならない課題と捉えている。今後、党として浄化槽のもつメリットを最大限活かした汚水処理行政に取り組みたいと述べた。

第2回

## 浄化槽技術講習会開催

徳島県環境技術センターは10月23日、ポリテクセンター徳島(徳島市昭和町)で第2回浄化槽技術講習会を開催し、会員事業所社員45名、行政担当者2名、非会員4名の計51名が参加した。



今回は、電気系統に関する技術を修得するため、徳島職業能力開発促進センター訓練課 板山正剛 電気・電子系指導員により、次の講義が行われた。

- 1 時限目: 「ブロウ・ポンプ等の電気系統の仕組みについて」
- 2 時限目: 「ブロウ・ポンプ等の電気系統の保護機能について」
- 3 時限目: 「保守点検時の電気系統におけるトラブル発生時の対処法について」

板山講師は、モーターの原理や機能について説明した後、実際に浄化槽で稼働しているブロウ・ポンプの役割について実機を用いて説明したり、浄化槽内の稼働写真や機能体系図を使用して分かり易く解説を行った。また、浄化槽保守点検時に発生するトラブルの対処方法や感電事故等を未然に防ぐための安全対策についても詳しく説明した。

参加者は、日頃取り扱う現場での状況を、講義の内容と照らし合わせながら熱心に受講し、講義終了後には、その分野の技術を習得したとする修了証が交付された。

## 表彰の栄誉

政府は3日付で、秋の叙勲の受章者を発表・発令。

当法人三好地区会員 阿波みよし農協本店 代表理事組合長 勝瑞時寛氏(78歳)が旭日小綬章を受賞されました。おめでとうございます。

今後ますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

▽旭日小綬章

勝瑞時寛氏(78) 阿波みよし農協本店 代表理事組合長



おめでとうございます

全浄連  
指定検査機関

四国地区  
協議会を開催

平成27年10月27日、愛媛県松山市道後のホテル花ゆづきにおいて、全浄連四国地区協議会、並びに浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の合同役員会が開催された。まず始めに主催県を代表して、愛媛県の寺井会長が開会の挨拶をし、続いて出席者全員が自己紹介を行い、その後寺井会長が議長となり議事に入った。



### 【議題1】「浄化槽法指定検査機関四国地区協議会の検査員研修会の継続開催について」

最初に事務局から、開催の目的やこれまでの実施状況・内容、予算措置、メリット等について説明した後、協議に入った。各県の会長・理事長からは、概ね継続すべきとする意見が出されたが、一方、課題として、検査員間の情報交換や親睦だけで、実際にそれが各県の検査業務運営等にどれだけ活かされているかが疑問であるとの問題提起もあった。よって、今後は、四国ブロックの研修会及び他ブロックとの交流は継続実施するものの、毎年その結果を精査・検証し、効果を目に見えるような形で報告、実績が上がっていないものについては、随時見直しを図ることを決定した。

### 【議題2】その他(意見交換)

徳島県の大坂会長が、全浄連の機能保証制度について委員として出席している立場から「今の保証制度は矛盾を多く抱えている。47都道府県間でも、業界間にしても不公平な実態がある。全国的に見ても四国の貢献度は非常に高いため、当ブロックだけでも、保証期間のさらなる延長を全浄連に申し入れてはどうか」と発言、協議の結果、気持ちは十分に理解できるが、や

はり全国的な制度であるので、四国だけ突出するのは無理がある。今後も、全浄連に対し、設置者の目線によりよい制度に改革するよう、働きかけを強化することで意見がまとまった。

その後、会場を移し、6時から懇親会を開催、香川県の岡顧問による乾杯の発声で宴席が始まったが、各県ともに、日頃の組織運営に課題等を抱えていることから、和やかな雰囲気の中、熱心に情報交換を行う場面も多く見られた。

最後に、高知県の川崎会長の一本締めで、実り多い会が閉じられた。

## 福島県 第29回全国浄化槽技術研究集会開催

第29回全国浄化槽技術研究集会が10月14、15日の2日間、福島県郡山市のホテルハマツで開催された。

この研究集会は、新技術や現場の事例等を通じて浄化槽の普及促進と関連技術の向上を図ることを目的に、公益財団法人日本環境整備教育センターの主催により昭和62年から毎年開催されており、2日間の日程で延べ約1,300人が参加した。

今年は14日に式典、講演・研究発表、15日に行政報告、行政担当者研究会及び浄化槽検査員研究会が行われた。

14日の式典では廣瀬理事長が「地方自治体に最も適し、地域住民が望む水環境保全を実現する浄化槽について理解を深めてほしい」と挨拶をしたあと、来賓の祝辞が述べられた。続いて、浄化槽関係事業功労者表彰及び浄化槽研究奨励・楠本賞の贈呈が執り行われた。

式典後は、NHK放送文化研究所メディア研究部副部長の後藤千恵氏が「スモール イズ クリエイティブ 超高齢・人口減少社会を幸せに生きるには」と題して特別講演が行われた。

15日は、汚水処理所管省庁からの行政報告のあと、浄化槽行政担当者会と浄化槽検査員研究会が開催され、今後の行政の取組、最新の性能評価型浄化槽についてなど多数の研究発表があった。

当センターから参加した川原副部長以下検査員2名は、全国の研究団体や検査機関の特色ある高度な研究結果、国と地方における重要な課題や先進的な取り組みなど、今回学んだことを徳島県の汚水処理のレベルアップに繋げたいと抱負を語っていた。

次回の第30回全国浄化槽技術研究集会は東京都の東京ビッグサイトで開催される。

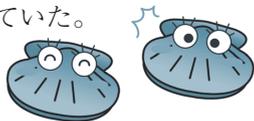


## 第12回 阿南市子どもフェスティバル開催

平成27年10月25日(日)、阿南市那賀川町的那賀川スポーツセンターと那賀川町社会福祉会館において「第13回阿南市子どもフェスティバル」(主催:阿南市子どもフェスティバル実行委員会・阿南市・阿南市教育委員会、共催:阿南工業高等専門学校)が開催された。

今年のテーマは「みんな集まれ!楽しく、わくわく、夢にチャレンジ!!」と題して、大人と子供が一体となって楽しめるために、阿南市内の各団体や学校等から趣向を凝らした催し物やイベントが出展され、天候も快晴とあって大勢の親子連れでにぎわった。

環境技術センターが幹事として活動している「みなみから届ける環づくり会議」も例年通り出展し、センターもその一員として参加した。今回も紙作りや、「オヤニラミ(徳島県の指定希少野生生物)」等の魚の展示の他、センターからは環境学習や昨年イベントで好評であった「アサリによる汚水の浄化実験コーナー」を提供出展した。この実験は、米のとぎ汁をアサリ水槽に入れて水がキレイになる様子を観察してもらうというもので、ブースでは魚の展示水槽と両隣ということもあって、大勢の子供や保護者らが集まり、センター職員から生物の浄化する働きについての解説を聞きながら興味深そうに観察していた。



## 浄化槽月間 適正な維持管理を啓発

徳島県は10月を浄化槽月間と定めており、県水・環境課と環境技術センターは共催で、県内4ヶ所に於いて、浄化槽の適正な維持管理に関する啓発活動を実施した。

それぞれの会場には、水・環境課をはじめ、保健福祉局・県民局職員及びそれぞれの市役所・町役場職員も参加し、買い物に訪れた来場者に、浄化槽の役割や、維持管理の重要性を普及する形でアンケートを実施、協力者には、水切りネットなどのエコ商品を進呈した。

事業を実施した日は、いずれも好天に恵まれ、それぞれの会場で、約200～500名の買い物客に対して、予定していた啓発を実施することが出来た。

また阿南会場では、「ケーブルテレビ阿南」の取材もあり、当日の啓発活動の様子が後日、メディアで紹介された。

毎年継続していることで、浄化槽設置者に対するの普及啓発の効果も現れており、来場者からは、「保守点検と年1回の清掃、法定検査、全部しとるけん」とか、「このキャンペーン毎年しような。検査もキチンと受けとるけん」などの活動に対する手応えも得られている。

### <実施場所は次のとおり>

東部地区:10月1日ゆめタウン徳島(藍住町)

南部地区:10月16日ザ・ビッグエクストラ阿南店(阿南市)

北部地区:10月22日ハローズ鳴門店(鳴門市)

西部地区:10月28日フレスポ阿波池田(三好市)



10月1日  
ゆめタウン徳島  
(藍住町)

10月16日  
ザ・ビッグエクストラ  
阿南店(阿南市)



10月22日  
ハローズ鳴門店  
(鳴門市)

10月28日  
フレスポ阿波池田  
(三好市)



### 会員訃報

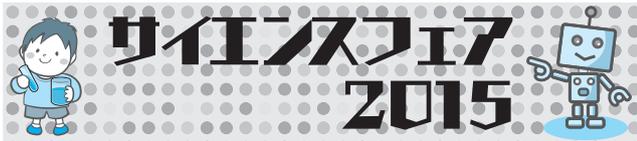
徳島環境整備 株式会社

代表取締役社長 田村多賀王氏

平成27年11月9日逝去 享年76歳

故人の御霊に対し、謹んでご冥福をお祈り致します。





10月31日(土)と11月1日(日)に、『サイエンスフェア 2015』が、あすたむらんど徳島で開催された。当センターのみずすまし隊は、昨年に引き続きブースを設け、出展した。

今年のテーマは『ひかり』ということで、「光を当てて不思議な世界へ…」と題し懐中電灯型映写機の工作を企画した。

作り方は簡単で、好きな絵を描いた透明のプラ板を

画用紙で作った筒に固定するだけ。

懐中電灯をセットして、みずすまし隊がデザインした50センチ四方のかわいいダンボールハウスの壁に投影する。

子供たちは、小窓を覗き込みながら、懐中電灯を点灯すると、壁に自分が描いた絵が映るやいなや、「うわっ!」や「すごい」と驚きの喚声をあげた。子供たちの不思議そうな表情や素直な反応が新鮮であった。

2日間の予定で準備していた製作キットであったが、その数を上回る来場者があり、盛況のうちに幕を下ろした。これからも、ますます喜ばれるような企画を提案し、当センターのイメージアップに貢献していきたい。



## 水質計量便り

### ～赤とんぼ～

夕やけ小焼けの赤とんぼ～♪三木露風の作詞、山田耕筰の作曲による、日本の代表的な童謡です。夕暮れ時の赤とんぼが、郷愁を誘う歌詞ですね。私たちににとっては、ありふれた風景で、その景色は誰でも目に浮かぶでしょう。

さて、この日本を代表する赤とんぼのアカアカネが、最近、めっきり姿を消しているそうです。確かに、私も今年は赤とんぼを一匹も見かけませんでした。(・\_・;)

特に、大阪をはじめとする西日本で「激減している」「大きく減少している」などの報告があり、近年5年間で西日本を中心とする7府県が「アカアカネ」をレッドリストに掲載しているそうです。

残念ながら、自然はまだ多いと感じていた徳島県も、「近年減少が激しい」と「アカアカネ」がレッドリストの『絶滅危惧Ⅱ類』(絶滅の危機が増大している種)に指定されています。

減少の原因については、農薬との因果関係が疑われており、専門家は「ネオニコチノイド系」の農薬を挙げています。

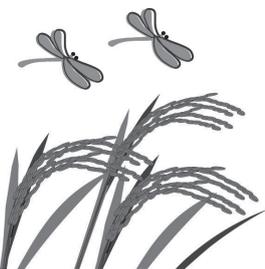
この農薬は、田植え後に使う回数を減らせることができ、便利でまた効果もあることから、近年高齢化が進む農家では需要が高まってきたようです。

気になるのが、「ネオニコチノイド系」の農薬について、最近みつばちの減少が問題になっていましたが、同系の農薬とみつばちの個体の減少は関連があるとする論文がネイチャーに掲載されるなど、生態系への影響が世界的にも懸念されている種類だそうです。

継続的な調査や、保護する取り組みなど早急に整備してもらいたいものです。

それにしても、農家の高齢化への対策の結果が、絶滅危惧種の増加の一端になるとは、なんとも皮肉な話ですね。

by koizumi



## 事務局だより

### 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。



#### ○11条検査

日程：平成27年12月10日～12月25日  
地区：阿波市・吉野川市・藍住町・北島町・石井町・上板町・佐那河内村

#### ○7条検査

日程：平成27年12月7日～12月25日  
地区：阿波市・吉野川市・美馬市・三好市・藍住町・北島町・石井町・上板町・つるぎ町・東みよし町

#### ○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：平成27年12月7日～12月25日  
地区：那賀町全域



#### ○神山町検査(神山町きれいな水づくり協議会)

日程：平成27年12月7日～12月25日  
地区：神山町全域

## 計量課からのお知らせ

### <年末の受付締切>

有害金属、VOC等……………12月17日迄  
BOD、CODを含むセット項目……………12月22日迄  
COD、全窒素・全リン……………12月24日迄  
飲料水検査……………12月22日迄

### <年始の受付開始>

年始の受付は、1月4日から開始します。